

2018年3月期 第3四半期決算説明会

XBEE
HYBRID



スズキ株式会社
2018.2.5

第3四半期実績

● 連結業績 … 増収増益、売上高・各利益過去最高※1

売上高	2兆7,249億円、前年同期比+21.0%	} 2期振り増収 6期連続増益
営業利益	2,598億円、前年同期比+55.3%	
経常利益	2,846億円、前年同期比+57.9%	
四半期純利益※2	1,643億円、前年同期比+23.2%	} 3期連続増益

- ・ 増収…インド、欧州、日本での四輪車、二輪車の販売増加等
- ・ 増益…日本、アジア、欧州での損益改善等

● 四輪世界販売 … 2,368千台（前年同期比+11.5%）で過去最高※1

- ・ インド、欧州、日本、インドネシア等で増加

● 二輪世界販売 … 1,190千台（前年同期比+17.2%）

- ・ インド、中国、インドネシア等で増加

通期業績予想

● 通期業績予想は据置き

※1. 第3四半期累計期間として過去最高

※2. 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

増収増益・各利益過去最高

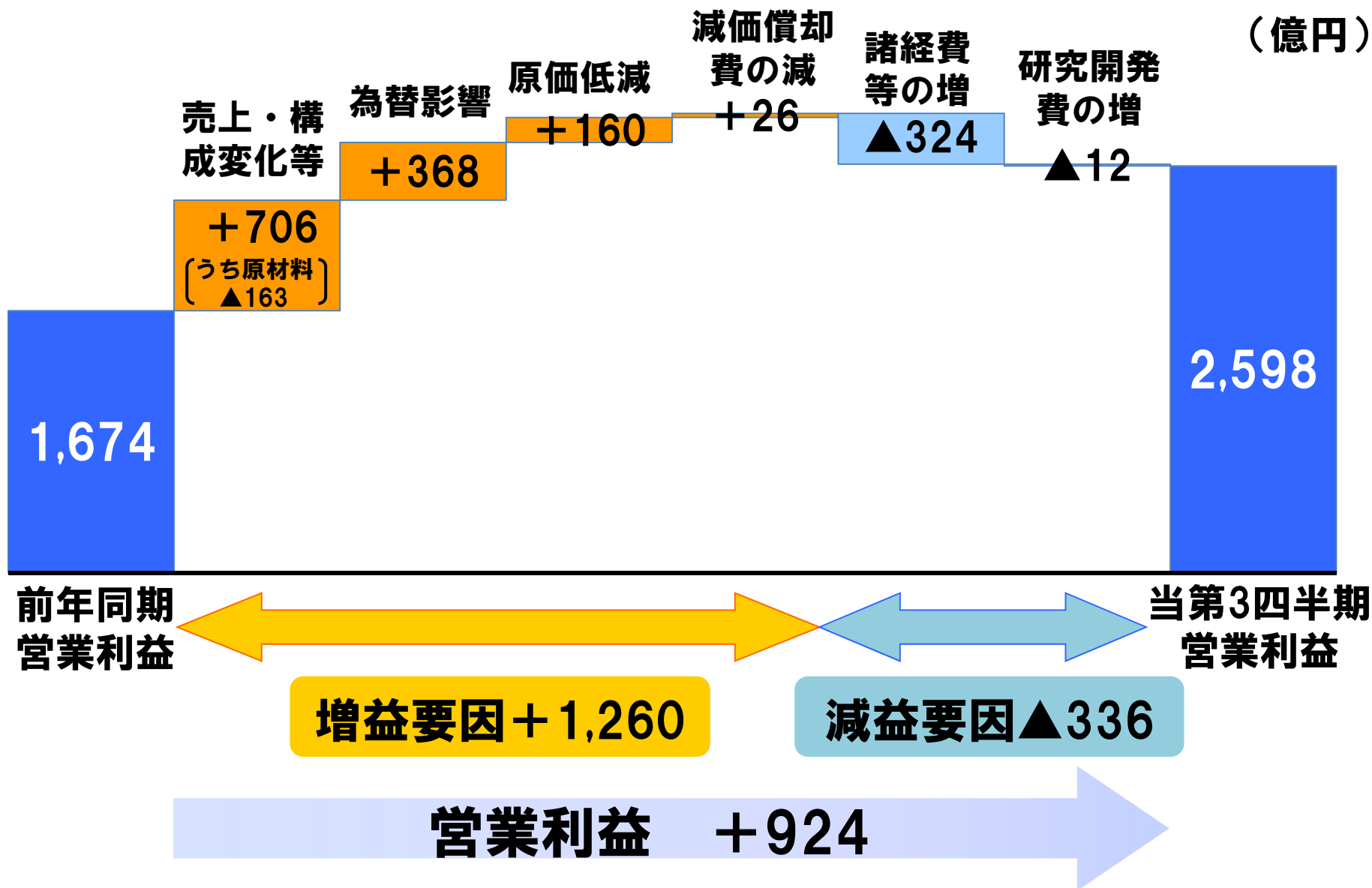
(億円)	当第3四半期 (’17/4-12)	前年同期 (’16/4-12)	増 減	
			増	減 増減率
売上高	27,249	22,520	+4,729	+21.0%
国内売上	7,800	7,253	+547	+7.5%
自 社	7,028	6,630	+398	+6.0%
O E M	772	623	+149	+23.9%
海外売上	19,449	15,267	+4,182	+27.4%
営業利益 (利益率)	2,598 (9.5%)	1,674 (7.4%)	+924	+55.3%
経常利益 (利益率)	2,846 (10.4%)	1,802 (8.0%)	+1,044	+57.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	1,643 (6.0%)	1,334 (5.9%)	+309	+23.2%

各事業・各地域で増加、国内・海外・連結とも過去最高※

(億円)	四輪車			二輪車			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	7,530	6,990	+540	159	146	+13	111	117	▲6	7,800	7,253	+547	
自 社	6,758	6,367	+391	159	146	+13	111	117	▲6	7,028	6,630	+398	
OEM	772	623	+149							772	623	+149	
海外計	17,366	13,601	+3,765	1,651	1,286	+365	432	380	+52	19,449	15,267	+4,182	+1,326
欧 州	3,323	2,643	+680	320	245	+75	118	96	+22	3,761	2,984	+777	+278
北 米	11	17	▲6	228	165	+63	194	178	+16	433	360	+73	+20
アジア	12,237	9,366	+2,871	833	617	+216	44	37	+7	13,114	10,020	+3,094	+907
インド	9,247	7,085	+2,162	339	222	+117	3	2	+1	9,589	7,309	+2,280	+773
〃以外	2,990	2,281	+709	494	395	+99	41	35	+6	3,525	2,711	+814	+134
その他	1,795	1,575	+220	270	259	+11	76	69	+7	2,141	1,903	+238	+121
総合計	24,896	20,591	+4,305	1,810	1,432	+378	543	497	+46	27,249	22,520	+4,729	+1,326
内、為替 換算影響			+1,229			+81			+16				+1,326

注. 当期…2017年4～12月期、前期…2016年4～12月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

※第3四半期累計期間として過去最高



	当第3四半期 (’17/4-12)	前年同期 (’16/4-12)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	112円	107円	+5円	+25億円
ユーロ	129円	118円	+11円	+118億円
インドルピー	1.74円	1.60円	+0.14円	+151億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.84円	0.81円	+0.03円	+13億円
タイバーツ	3.33円	3.03円	+0.30円	▲17億円
その他	—	—	—	+78億円 ※
計				+368億円

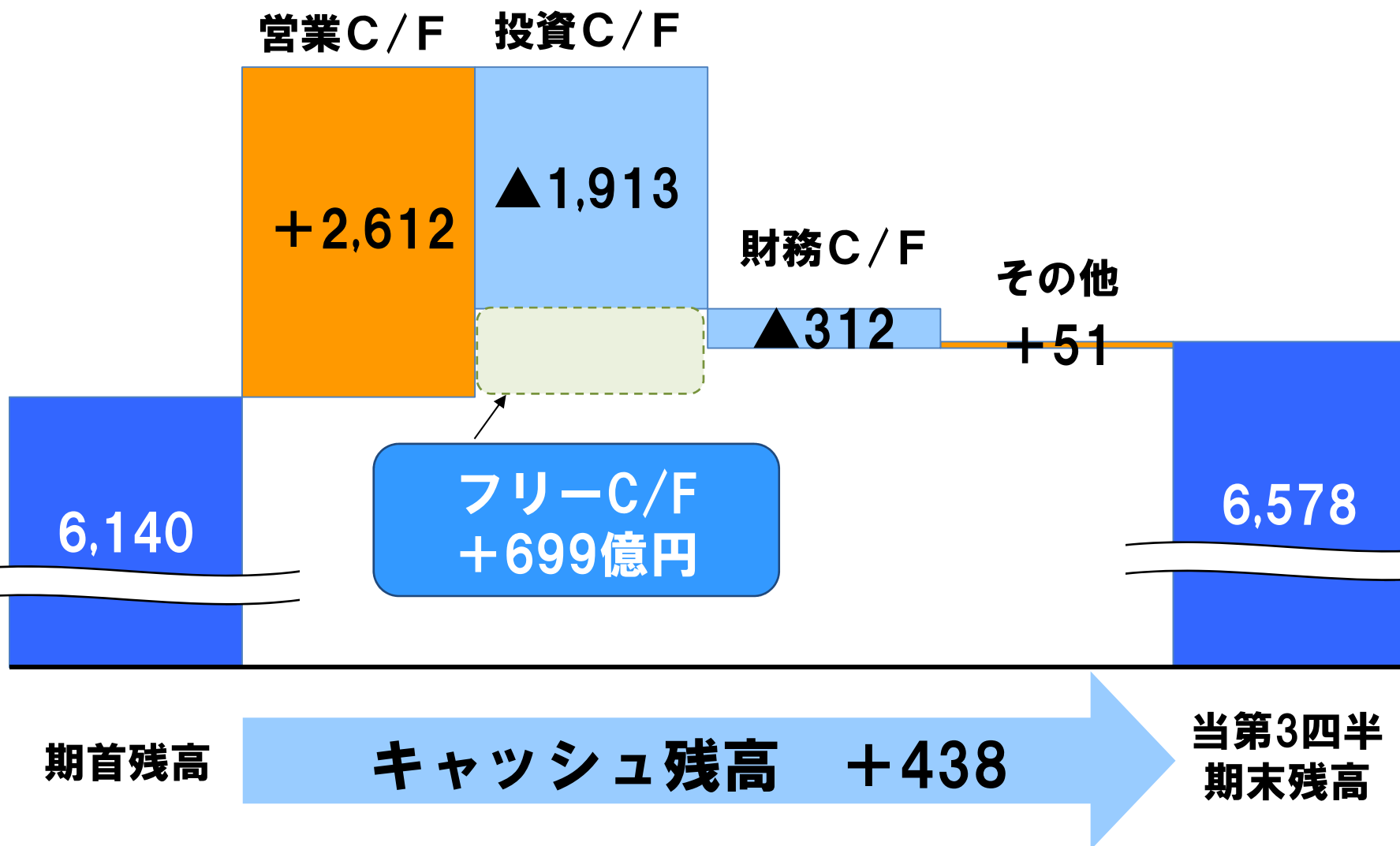
※メキシコペソ+17億円、豪ドル+14億円、パキスタンルピー+10億円、他

(億円)

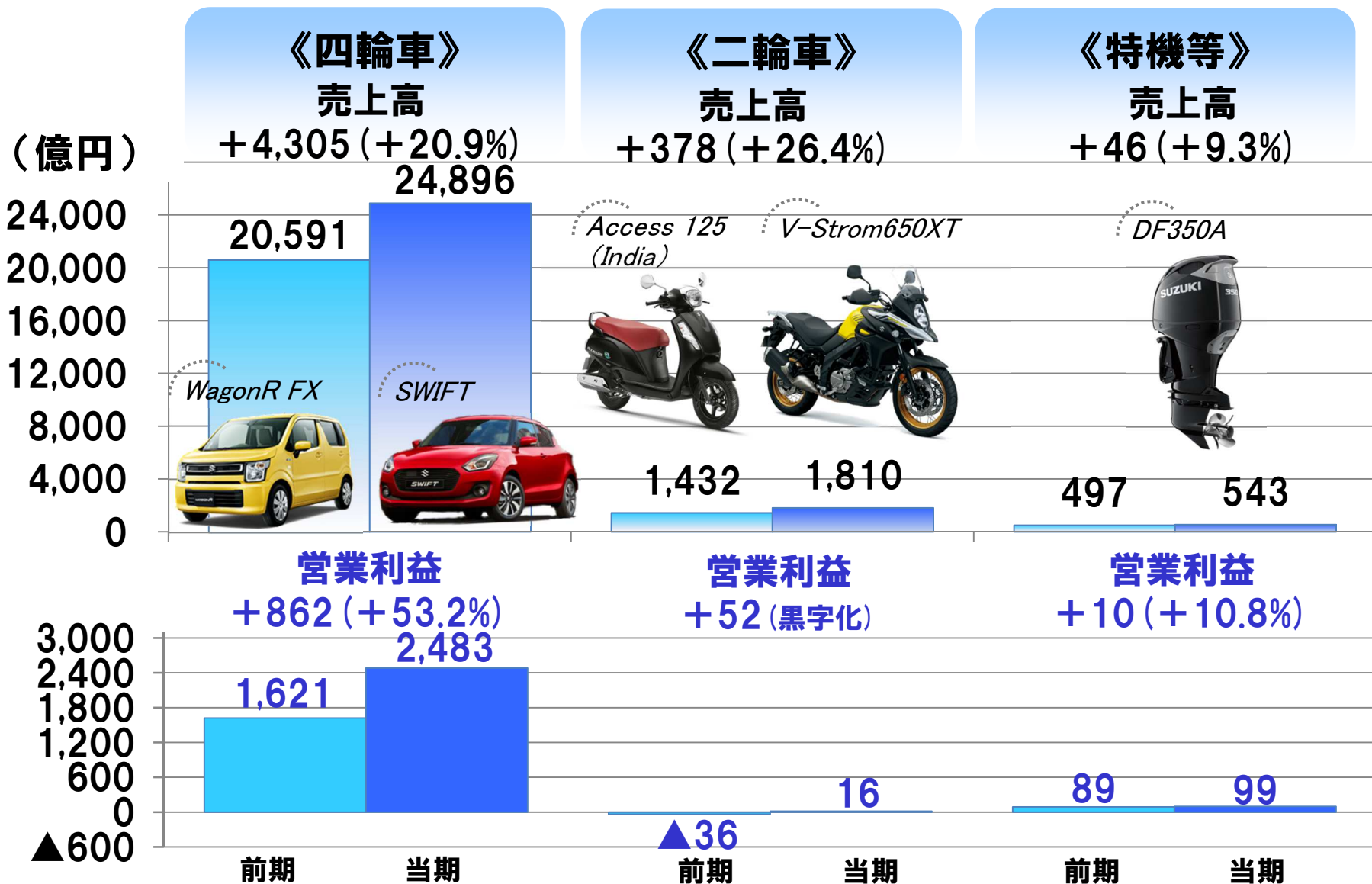
	当第3四半期 ('17/4-12)	前年同期 ('16/4-12)	増 減
(当社単独)	365	427	▲62
(子会社)	867	940	▲73
設備投資	1,232	1,367	▲135
減価償却費	1,144	1,171	▲27
研究開発費	988	976	+12

	当第3四半期末	前年同期末		前期末	
	('17/12末)	('16/12末)	増 減	('17/3末)	増 減
有利子負債残高	6,561	6,703	▲142	6,399	+162

(億円)

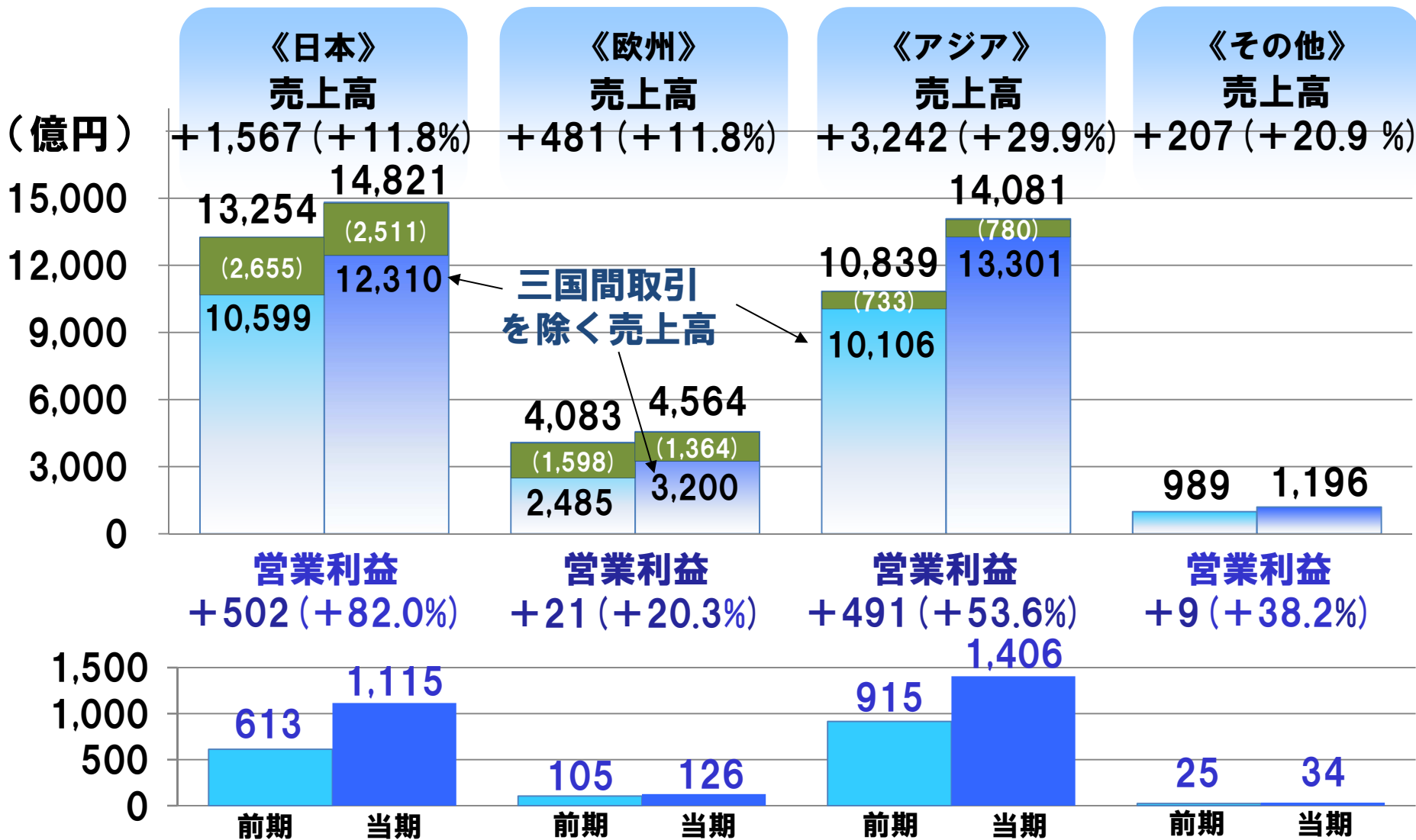


連結：事業別業績 (売上高・営業利益)



※当期・・・2017年4月～12月期、前期・・・2016年4月～12月期

連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)



注. 三国間取引について
従来、ハンガリー生産車の欧州域内への子会社向け売上高は、域内子会社間取引として消去されていましたが、取引形態を日本経由の三国間取引に変更したため、日本向け売上高及び日本から欧州への売上高が消去されず、日本・欧州ともに売上高がその分、多く表示されています。アジアについても同様な取引があります。

	当第3四半期末 ('17/12末)	前年同期末		前期末	
		('16/12末)	増減	('17/3末)	増減
連結 子会社数	131社	136社	▲5社	136社	▲5社
持分法適用 関連会社数	31社	32社	▲1社	32社	▲1社
従業員数	64,817人	62,652人	+2,165人	62,992人	+1,825人

前回予想を据置き

●業績予想

(億円)	通期予想	前期比較	
		前期実績	増減
売上高	36,000	31,695	+4,305
営業利益	3,000	2,667	+333
経常利益	3,200	2,867	+333
親会社株主に帰属する当期純利益	1,800	1,600	+200

<営業利益 増減要因>

売上・構成変化等	+793	+1,197
原価低減	+200	+231
為替影響	+200	▲793
諸経費等	▲500	+35
研究開発費	▲190	▲5
減価償却費	▲170	+49
計	+333	+714

設備投資	2,200	1,988	+212
減価償却費	1,800	1,634	+166
研究開発費	1,500	1,315	+185

●為替前提

	通期予想	為替影響	前期比較	
			前期実績	増減
米ドル	111円	+14億円	108円	+3円
ユーロ	123円	+59億円	119円	+4円
インドルピー	1.70円	+86億円	1.63円	+0.07円
インドネシアルピア※	0.85円	+12億円	0.82円	+0.03円
タイバーツ	3.19円	▲7億円	3.08円	+0.11円
その他通貨		+36億円		
為替影響額 計		+200億円		

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

2,440千台で第3四半期としては過去最高

《4~12月比較》

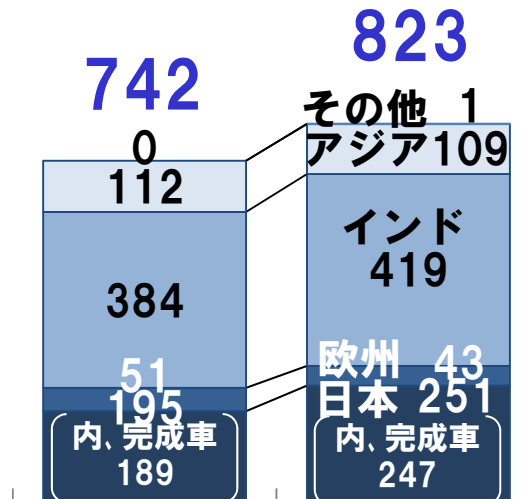
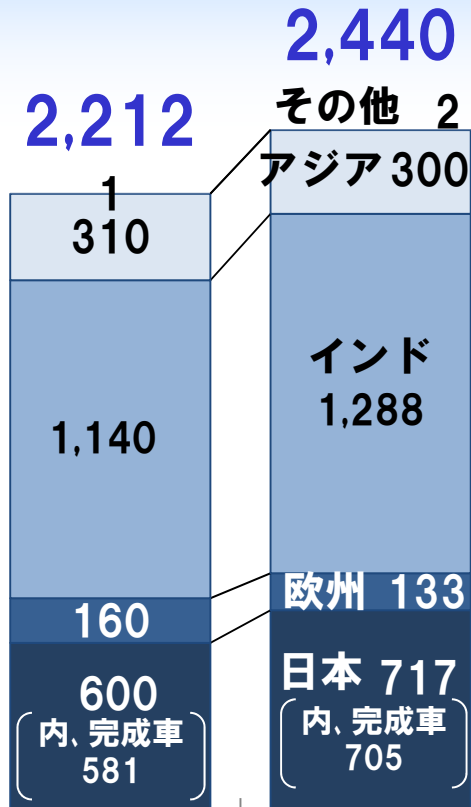
+228千台 (+10.3%)

《内、10~12月比較》

+82千台 (+11.0%)
(千台)

●当期(4~12月)の世界生産

- 2,440千台(前年同期比+10.3%)で、過去最高を更新
- 日本(同+19.5%)、インド(同+13.0%)で増加
- 欧州は「スイフト」生産を日本へ移管したことにより減少(同▲16.8%)
- インドを除くアジアは、中国の減少により減少(同▲3.3%)



前年同期
'16/4-12

当第3四半期
'17/4-12

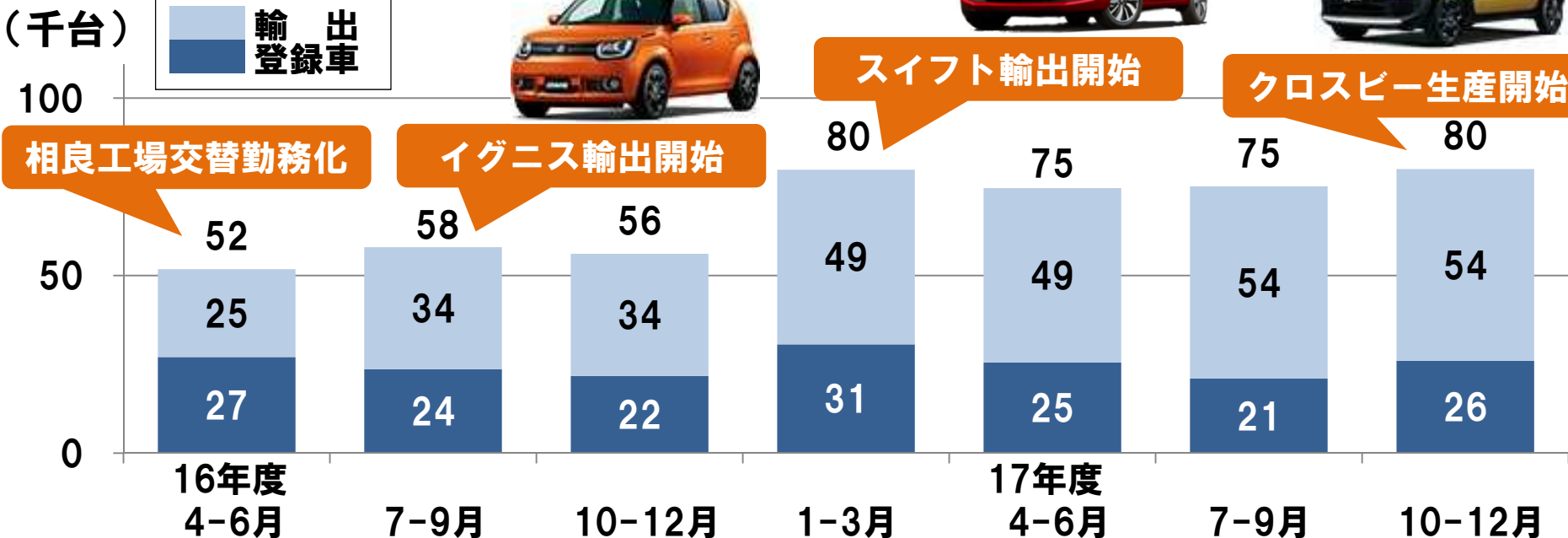
前年同期
'16/10-12

当第3四半期
'17/10-12

17年1月以降、小型車生産が急拡大

- 16年度2Qでの「イグニス」輸出開始、4Qでの「スイフト」輸出開始により、輸出向け生産が急拡大
- 小型車を生産している相良工場は16年6月より交替勤務化し、17年1月以降、フル操業を継続

日本の小型車（登録車・輸出）生産 四半期毎推移

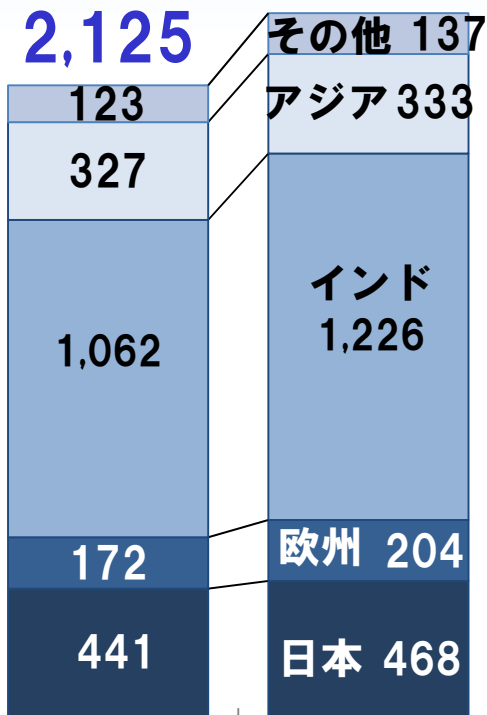


世界販売も2,368千台で過去最高を更新

《4～12月比較》

+244千台 (+11.5%)

2,368

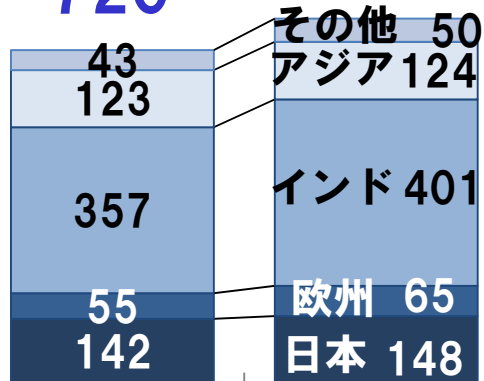


《内、10～12月比較》

+67千台 (+9.3%)
(千台)

720

787



●当期（4～12月）の世界販売

・2,368千台（前年同期比+11.5%）で、過去最高を更新

・日本（同+6.1%）、
欧州（同+18.9%）、
インド（同+15.5%）で増加

●スズキ、南アフリカで
2年連続 Brand of the Year受賞

- ・SUZUKI …Brand of the Year
- ・VITARA …Compact Family Car of the Year
- ・IGNIS …Budget Car of the Year

前年同期
'16/4-12

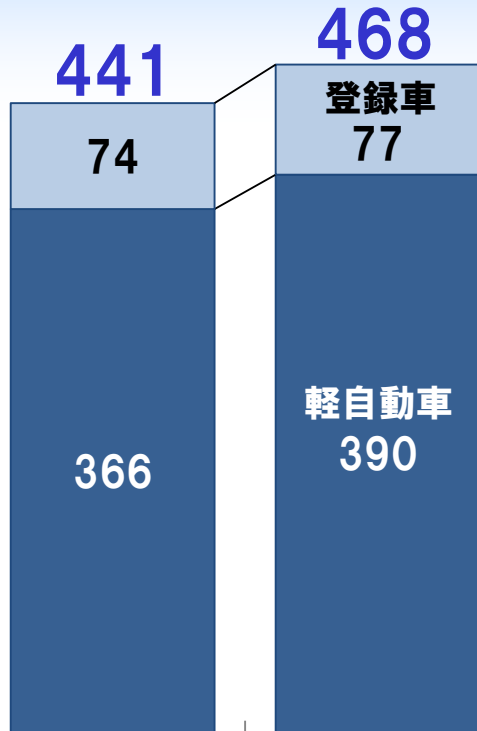
当第3四半期
'17/4-12

前年同期
'16/10-12

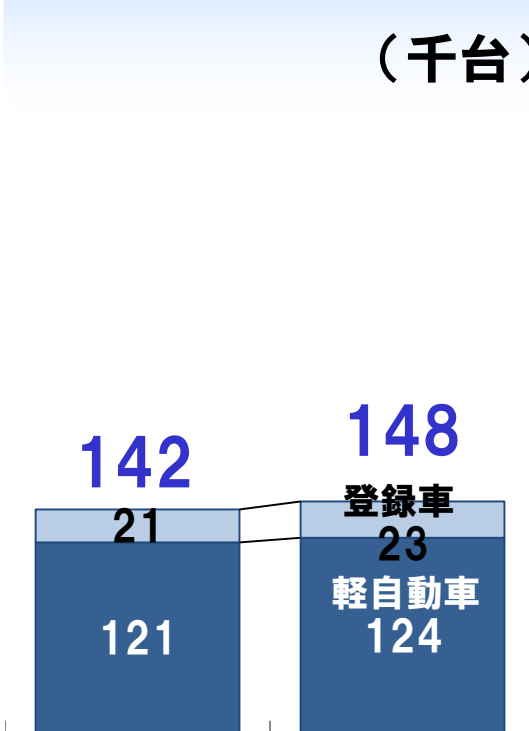
当第3四半期
'17/10-12

「ワゴンR」「スイフト」に加え、12月には 新型「スペーシア」「クロスビー」を投入

《4～12月比較》
+27千台（+6.1%）



《内、10～12月比較》
+6千台（+3.9%）
（千台）



●当期（4～12月）の日本販売

- ・新型車の販売貢献等により、468千台（前年同期比+6.1%）、軽自動車、登録車ともに増加



●トピックス

- ・新型「スイフト」が3世代連続でRJCカーオブザイヤー受賞



前年同期
'16/4-12

当第3四半期
'17/4-12

前年同期
'16/10-12

当第3四半期
'17/10-12

12月に「スペーシア」「クロスビー」を新発売

スペーシア

- 軽乗用車「スペーシア」を全面改良し、12月14日より発売開始
- 安全装備を充実し、家族や仲間と楽しく使える軽ハイトワゴン



クロスビー

- 新ジャンルの小型クロスオーバーワゴン「クロスビー」を12月25日より日本国内で発売開始
- 使いやすく広い室内空間を持つワゴンとSUVの楽しさを融合

- ・ 両モデルに予防安全技術「スズキ セーフティ サポート」を採用
- ・ 「セーフティ・サポートカー※」の「サポカーS ワイド」に該当

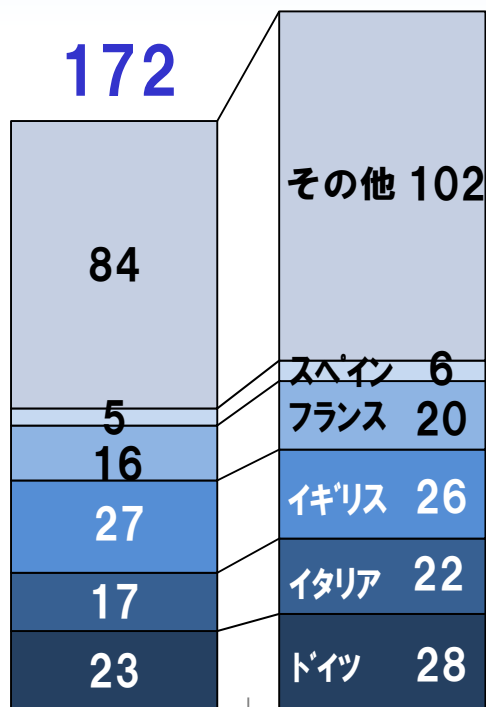


※経済産業省や国土交通省などが普及を推進

14ヵ月連続※で前年同月比増加

《4～12月比較》
+33千台（+18.9%）

204



《内、10～12月比較》
+9千台（+16.9%）
（千台）



65



●当期（4～12月）の欧州販売

- ・ 欧州全体では「スイフト」、「SX4 S-CROSS」、「イグニス」など新型車の貢献により、前年同期比+18.9%と増加



前年同期
'16/4-12

当第3四半期
'17/4-12

前年同期
'16/10-12

当第3四半期
'17/10-12

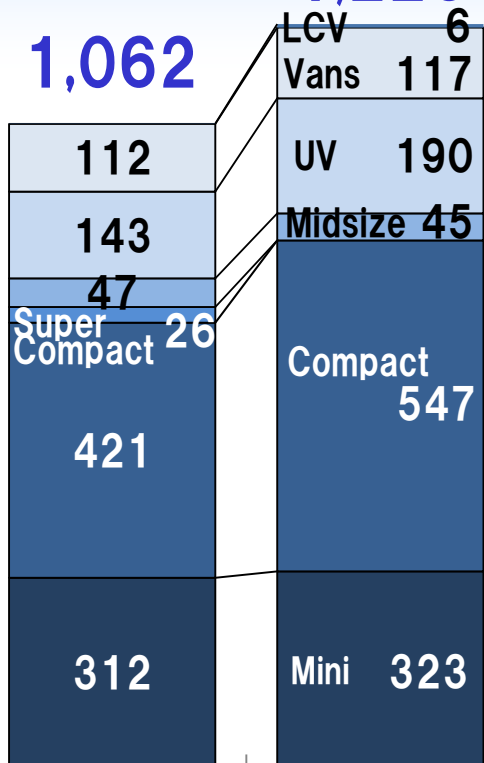
※2016年11月～2017年12月の14ヵ月連続で前年同月比増加

インドの販売台数は過去最高を更新

《4～12月比較》

+165千台（+15.5%）

1,226



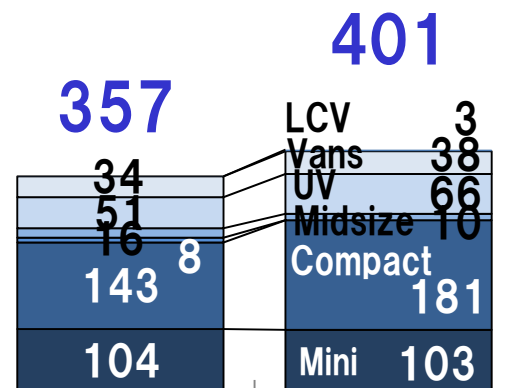
前年同期
'16/4-12

当第3四半期
'17/4-12

《内、10～12月比較》

+44千台（+12.4%）

（千台）



前年同期
'16/10-12

当第3四半期
'17/10-12

●当期（4～12月）のインド販売

- ・「バレーノ」、「ビターラ・ブレッツァ」、新型「ディザイア」の好調により、4～12月累計は1,226千台となり、第3四半期として過去最高を更新

●トピックス

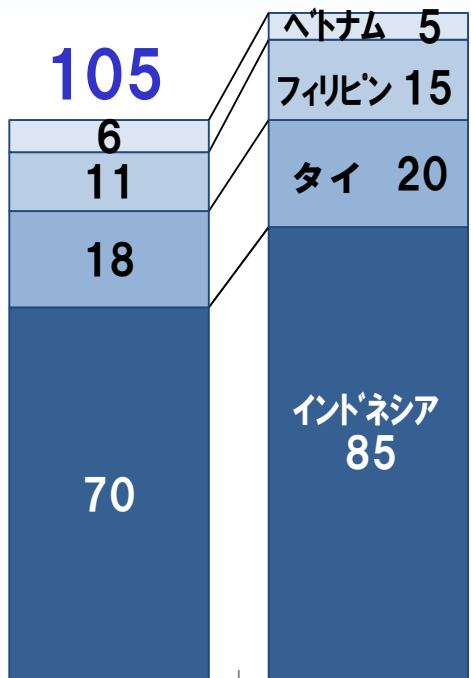
- ・10月「S-CROSS」を刷新
- ・12月スタイリッシュでスポーティーな「CelerioX」追加



インドネシア、タイの販売増等により増加

《4～12月比較》
+20千台（+19.1%）

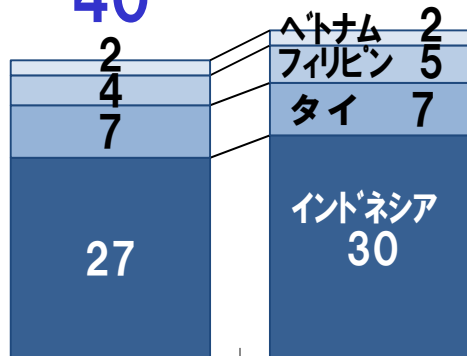
125



前年同期 '16/4-12
当第3四半期 '17/4-12

《内、10～12月比較》
+5千台（+12.0%）
（千台）

40 → 45



前年同期 '16/10-12
当第3四半期 '17/10-12

●当期（4～12月）アセアン販売

- ・アセアン4カ国※1合計で125千台（前年同期比+19.1%）
- ・インドネシアは商用車の復調に加え、インドから導入した「イグニス」「バレーノ」の貢献もあり、前年同期比+21.8%
- ・タイは「シアズ」の増加により、前年同期比+11.0%

●トピックス

「AFFスズキカップ」

- ・2008年以来、6回連続で東南アジアサッカー選手権※2の冠スポンサー獲得

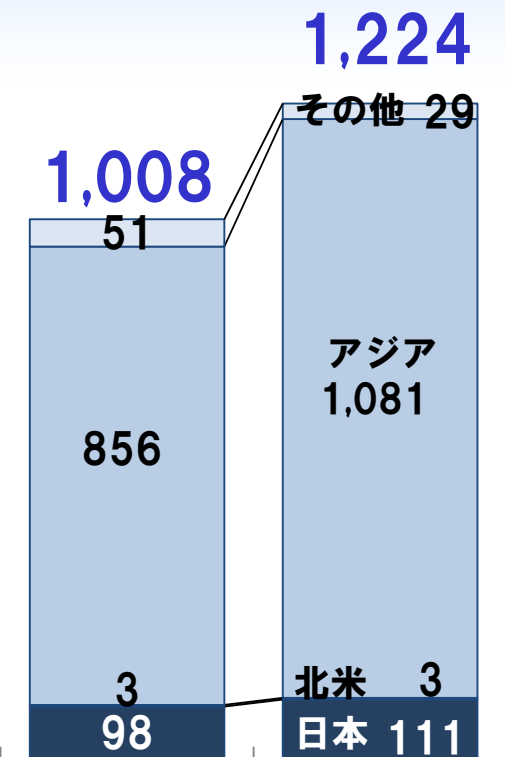
※2 ASEAN諸国ナショナルチームによるサッカーの国際大会、2年に1回開催

※1 アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム 4ヶ国合計

生産・販売ともに増加

《4～12月生産》

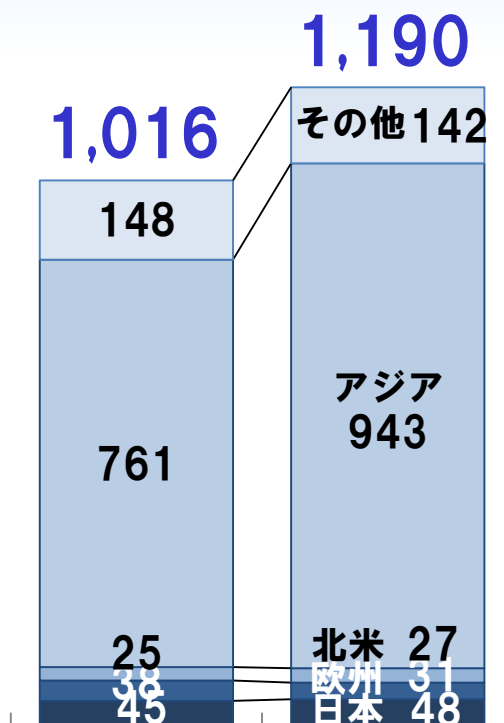
+216千台 (+21.4%)



前年同期 '16/4-12
当第3四半期 '17/4-12

《4～12月販売》

+174千台 (+17.2%)
(千台)



前年同期 '16/4-12
当第3四半期 '17/4-12

●当期（4～12月）の二輪車

- ・二輪車世界生産は1,224千台で前年同期比+21.4%
- ・二輪車世界販売は1,190千台で前年同期比+17.2%

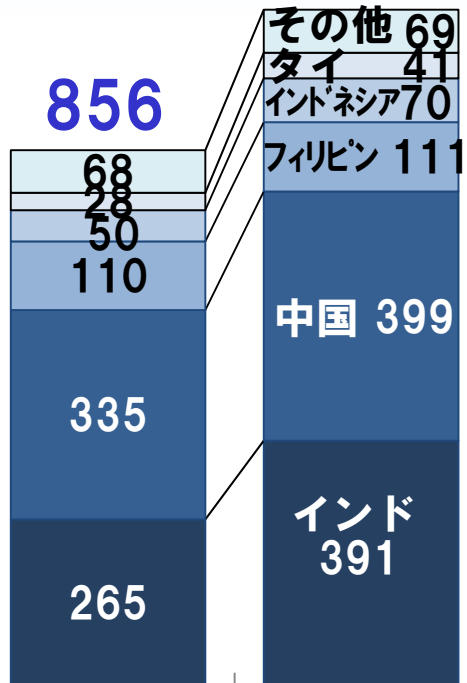


インド、中国、インドネシア等で増加

《4～12月生産》

+225千台 (+26.3%)

1,081



前年同期
'16/4-12

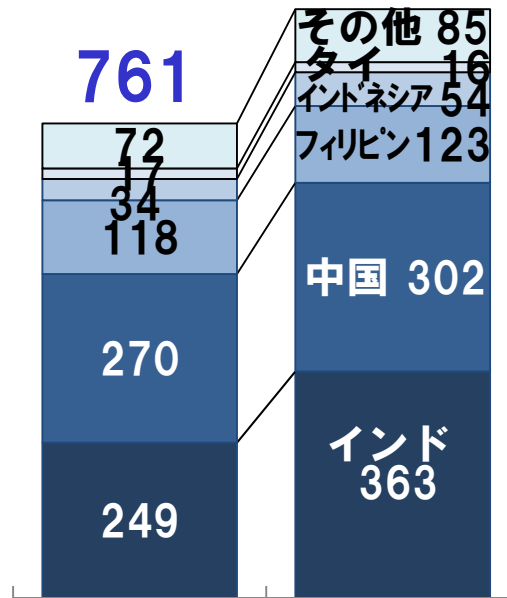
当第3四半期
'17/4-12

《4～12月販売》

+182千台 (+23.9%)

(千台)

943



前年同期
'16/4-12

当第3四半期
'17/4-12

●当期（4～12月）のアジア販売

- ・アジアの販売は、インド、中国、インドネシア等で増加し、943千台（前年同期比+23.9%）
- ・インドは「アクセス」の好調に加え11月にはモダンクルーザー「イントルーダー」投入もあり、拡大が続く（同+45.8%）



本年1月より先進国向けに新型車投入

SV650X ABS

- 現代の最新技術を用いたエンジンや車体に伝統的な外観を取り入れたネオレトロの新型ロードスポーツバイク



GSX-R125 ABS

- 軽量、高性能なスーパースポーツバイク
- GSX-Rシリーズのエントリーモデル



前回予想を据置き

(千台)	通期生産台数				通期販売台数			
	予想 (17年度)	前期実績 (16年度)	増減	増減率	予想 (17年度)	前期実績 (16年度)	増減	増減率
<四輪車>								
日本	973	871	+102	+11.8%	645	639	+6	+1.0%
欧州	173	203	▲30	▲14.9%	270	245	+25	+10.4%
アジア	2,174	1,999	+175	+8.8%	2,010	1,870	+140	+7.5%
その他	2	1	+1	+51.3%	177	164	+13	+7.6%
合計	3,322	3,074	+248	+8.1%	3,102	2,918	+184	+6.3%
<二輪車>								
日本	155	141	+14	+10.1%	62	62	+0	+0.1%
欧州	—	—	—	—	47	45	+2	+4.5%
北米	4	4	▲0	▲9.4%	39	32	+7	+22.4%
アジア	1,320	1,162	+158	+13.6%	1,180	1,039	+141	+13.6%
その他	42	62	▲20	▲32.8%	187	190	▲3	▲1.3%
合計	1,521	1,370	+151	+11.0%	1,515	1,367	+148	+10.8%

2018年3月期 第3四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。